



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年10月27日

上場会社名 養命酒製造株式会社 上場取引所 東名  
 コード番号 2540 URL <http://www.yomeishu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩澤 太朗  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 斉藤 隆 (TEL) 03-3462-8138  
 四半期報告書提出予定日 平成28年10月31日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の業績 (平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	5,625	△3.6	519	△14.2	693	△9.9	492	△44.6
28年3月期第2四半期	5,837	△4.5	605	△28.7	769	△23.2	887	5.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	35.91	—
28年3月期第2四半期	64.80	—

※当社は、平成27年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、1株あたり四半期純利益は、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	42,343	37,178	87.8
28年3月期	42,849	37,378	87.2

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 37,178 百万円 28年3月期 37,378 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	40.00	40.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,530	6.5	2,040	11.1	2,300	8.9	1,570	△11.3	114.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	16,500,000株	28年3月期	16,500,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	2,785,408株	28年3月期	2,800,642株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	13,706,629株	28年3月期2Q	13,700,295株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 1. 当社は、平成27年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

2. 当社は、「役員報酬BIP信託」を導入しており、当該信託が保有する当社株式は、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第 2 四半期累計期間	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）におけるわが国経済は、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、個人消費の回復は依然として鈍く、新興国等の海外景気の減速に対する懸念や、英国の欧州連合（EU）離脱問題などの影響による円高の進行等、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社の関連業界におきましても、生活防衛意識や節約志向、業種業態を越えた企業間競争の激化が続き、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社は、「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」という経営理念の下、中期経営計画（平成27年4月から平成30年3月まで）において「ポジティブエイジングケアカンパニーとして、健やかに、美しく、歳を重ねることに貢献する」という事業ビジョンに基づき、「持続的成長に向けた新規事業領域の確立」を基本方針として「新規事業領域の成長基盤の構築」「薬用養命酒の収益体質の維持」「生活者視点に立った事業活動を基盤としたCSR経営の推進」の各施策に取り組んでおります。

当第2四半期累計期間の業績は、「養命酒」の売上が前年同四半期を下回り、「その他商品・サービス」の売上は前年同四半期を上回ったものの、売上高は5,625百万円（前年同四半期比3.6%減）となりました。利益面につきましては、営業利益は519百万円（前年同四半期比14.2%減）、経常利益は693百万円（前年同四半期比9.9%減）、四半期純利益は前年同四半期に計上した固定資産売却益がなくなったことにより、492百万円（前年同四半期比44.6%減）となりました。

セグメント別には以下のとおりです。

#### ① 養命酒関連事業

養命酒関連事業の売上高は5,489百万円（前年同四半期比3.9%減）となりました。

##### <養命酒>

国内における「養命酒」につきましては、販売促進の強化期を設け、主力購買層であるシニア層を含む幅広い年齢層に向けて「疲れと胃腸不調」などの「複合症状」の解決や「体質的・器質的な衰え」の改善を訴求し、新規顧客の獲得と継続飲用者の維持に努めました。また、提供番組へのテレビ広告、テレビスポット広告、新聞広告、交通広告、ラジオ広告、雑誌とのタイアップ広告等の各種広告に合わせて、店頭における什器導入を積極的に行うなど営業活動を強化し、更にドラッグストアチェーンとのタイアップ企画の実施や話題を喚起するためのウェブキャンペーン等を実施したものの、国内における「養命酒」の売上高は4,490百万円（前年同四半期比6.6%減）となりました。

海外における「養命酒」につきましては、「養命酒」の知名度と購買意欲の向上を目指し、主要輸出先（台湾・香港・マレーシア・シンガポール）の市場環境に即した販売促進活動を実施しました。季節毎の商戦期において、店頭販売促進活動や、テレビ、ラジオ、雑誌、ウェブ広告、キャンペーン等を実施したものの、海外における「養命酒」の売上高は143百万円（前年同四半期比18.2%減）となりました。

以上の結果、「養命酒」全体の売上高は4,634百万円（前年同四半期比7.1%減）となりました。

##### <その他商品・サービス>

「酒類」につきましては、ハーブワイン「HER HERBS」、「フルーツとハーブのお酒」のラインナップの拡充や、新商品「琥珀生姜酒」の投入等により取扱小売店が増加しました。また、「フルーツとハーブのお酒」は輸出を開始しました。酒類全体では、売場提案や販促物による店頭露出の拡大、店頭での試飲会、季節毎の記念日企画等取扱小売店と連携した販売促進活動、ウェブ広告等を実施し、売上高は272百万円（前年同四半期比25.8%増）となりました。

「エイジングケア商品」につきましては、「食べる前のうるる酢ビューティー」の商品リニューアルや新たなフレーバー商品の追加による取扱小売店の拡大と通信販売に取り組み、スーパーマーケット店頭での各種販売促進活動、サンプリング等を実施しました。また、グミ型サプリメントの新商品「グミ×サプリ」を発売したことにより、売上高は264百万円（前年同四半期比47.8%増）となりました。

「くらすわ・養命酒健康の森」につきましては、「くらすわ」は各種イベントの開催、新商品の投入、レストランメニューの改定等を実施しましたが、卸売の売上が減少したことにより、売上高は「養命酒健康の森」の売上を合算し、296百万円（前年同四半期比4.8%減）となりました。

以上の結果、「酒類」、「エイジングケア商品」、「くらすわ・養命酒健康の森」にその他の売上を合算し、「その他商品・サービス」全体の売上高は855百万円（前年同四半期比17.8%増）となりました。

#### ② その他

鶴ヶ島太陽光発電所と不動産賃貸の売上を合算し、売上高は136百万円（前年同四半期比8.3%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ506百万円減少し、42,343百万円となりました。これは主に売掛金が197百万円、投資有価証券及び関係会社株式に含まれる保有株式が時価評価の低下により270百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ306百万円減少し、5,165百万円となりました。これは主に未払法人税等が199百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ199百万円減少し、37,178百万円となりました。これは主に四半期純利益492百万円の計上及び配当金550百万円の支払いにより利益剰余金が58百万円、その他有価証券評価差額金が163百万円それぞれ減少したことによるものであります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ674百万円減少し、2,264百万円となりました。

営業活動の結果増加した資金は、604百万円(前年同四半期比348.6%増)となりました。これは主に税引前四半期純利益682百万円、減価償却費268百万円等の増加要因と、法人税等の支払額361百万円等の減少要因によるものであります。

投資活動の結果減少した資金は、726百万円(前年同四半期は64百万円の増加)となりました。これは主に有価証券の償還による収入500百万円と、有形固定資産の取得による支出158百万円及び投資有価証券の取得による支出1,000百万円によるものであります。

財務活動の結果減少した資金は、552百万円(前年同四半期比0.4%増)となりました。これは主に配当金の支払いによるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月10日発表の通期の業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年 6 月17日）を第 1 四半期会計期間に適用し、平成28年 4 月 1 日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第 2 四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

### (3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年 3 月28日）を第 1 四半期会計期間から適用しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年 3 月 31 日)	当第 2 四半期会計期間 (平成28年 9 月 30 日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,698,343	2,624,123
売掛金	2,720,416	2,522,986
有価証券	4,300,145	3,999,966
商品及び製品	392,243	356,371
仕掛品	127,613	197,611
原材料及び貯蔵品	833,242	865,738
その他	206,043	268,344
流動資産合計	11,278,048	10,835,143
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,312,880	3,243,844
その他(純額)	3,162,149	3,102,095
有形固定資産合計	6,475,030	6,345,940
無形固定資産		
	99,282	161,885
投資その他の資産		
投資有価証券	17,014,741	16,569,590
長期預金	4,700,000	4,700,000
その他	3,287,955	3,735,789
貸倒引当金	△5,074	△5,074
投資その他の資産合計	24,997,622	25,000,305
固定資産合計	31,571,935	31,508,131
資産合計	42,849,984	42,343,274
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	310,070	282,684
未払法人税等	356,260	157,168
賞与引当金	204,714	218,000
その他	1,432,291	1,339,865
流動負債合計	2,303,336	1,997,717
固定負債		
役員退職慰労引当金	48,350	48,350
その他	3,120,132	3,118,974
固定負債合計	3,168,482	3,167,324
負債合計	5,471,819	5,165,042

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,650,000	1,650,000
資本剰余金	690,705	690,705
利益剰余金	35,596,957	35,538,764
自己株式	△5,033,370	△5,002,503
株主資本合計	32,904,291	32,876,965
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,475,568	4,311,985
繰延ヘッジ損益	△1,695	△10,718
評価・換算差額等合計	4,473,872	4,301,266
純資産合計	37,378,164	37,178,232
負債純資産合計	42,849,984	42,343,274



## (2) 四半期損益計算書

第 2 四半期累計期間

(単位：千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月 30 日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月 30 日)
売上高	5,837,309	5,625,386
売上原価	1,962,170	1,943,122
売上総利益	3,875,138	3,682,264
販売費及び一般管理費	3,269,650	3,162,830
営業利益	605,487	519,433
営業外収益		
受取利息	12,130	18,454
受取配当金	138,499	146,478
その他	21,356	16,688
営業外収益合計	171,986	181,621
営業外費用		
支払利息	7,767	6,791
その他	141	1,135
営業外費用合計	7,909	7,926
経常利益	769,564	693,129
特別利益		
固定資産売却益	527,513	-
特別利益合計	527,513	-
特別損失		
固定資産除却損	4,988	10,873
特別損失合計	4,988	10,873
税引前四半期純利益	1,292,089	682,255
法人税、住民税及び事業税	371,000	163,000
法人税等調整額	33,259	27,054
法人税等合計	404,259	190,054
四半期純利益	887,829	492,201

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	1,292,089	682,255
減価償却費	242,422	268,036
貸倒引当金の増減額(△は減少)	74	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△12,282	13,286
受取利息及び受取配当金	△150,630	△164,933
支払利息	7,767	6,791
有形固定資産売却損益(△は益)	△527,513	—
有形固定資産除却損	4,988	10,873
売上債権の増減額(△は増加)	61,160	197,429
たな卸資産の増減額(△は増加)	△117,734	△66,621
仕入債務の増減額(△は減少)	△19,401	△27,385
未払費用の増減額(△は減少)	80,156	△41,980
未払消費税等の増減額(△は減少)	△243,092	59,201
その他	△99,716	△118,813
小計	518,288	818,137
利息及び配当金の受取額	152,047	161,616
利息の支払額	△13,025	△13,093
法人税等の支払額	△522,462	△361,692
営業活動によるキャッシュ・フロー	134,847	604,969
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△600,000	△1,800,000
定期預金の払戻による収入	301,500	1,800,000
有価証券の取得による支出	△400,000	—
有価証券の償還による収入	1,800,000	500,000
有形固定資産の取得による支出	△306,113	△158,252
有形固定資産の売却による収入	597,196	—
無形固定資産の取得による支出	△27,809	△67,836
投資有価証券の取得による支出	△1,300,605	△1,000,071
投資活動によるキャッシュ・フロー	64,168	△726,161
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,050,000	1,050,000
短期借入金の返済による支出	△1,050,000	△1,050,000
自己株式の取得による支出	△124,834	△199
自己株式の売却による収入	122,452	—
配当金の支払額	△548,440	△552,713
財務活動によるキャッシュ・フロー	△550,822	△552,912
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△114
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△351,806	△674,219
現金及び現金同等物の期首残高	3,626,576	2,938,343
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,274,769	2,264,123

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。